

ヤスマツヒメハナバチ

Andrena yasumatsui Hirashima
ハチ目・ヒメハナバチ科

【福井県カテゴリー】新：要注目

旧：—

【環境省カテゴリー】情報不足

選定理由

確認地点に増減なし。栃木県、千葉県、東京都で減少が報告されており、環境省のレッドリストで情報不足に指定されている。本県でも生息地が限られていることから、今後注視が必要と判断し要注目とした。

種の特徴

体長 8～11 mm。体は黒色で、頭部、胸部に灰白色毛を密生する。県内では成虫は 4～5 月初めに採集されている。ヤナギ、リンゴ、スモモ、アブラナ等の花を訪花することが知られる。低地～丘陵地に生息し、営巣地として砂地を好む。

分 布

本州に分布。県内では大野市下山、新河原、土布子、勝山市下荒井に記録があった。今回の調査では、あわら市北潟東と越前町牛房ヶ平で生息が確認されている。

生息を脅かす要因

宅地開発や土地造成、道路建設等による営巣地の破壊が脅威となる。また自動車の排気ガスによる訪花植物への影響等も考えられる。

参考文献 千葉県 (2011)、福井県自然環境保全調査研究会 (1985)、福井県自然環境保全調査研究会 (1998)、環境省 (2015)、室田ら (2009)、野坂 (2001)、野坂・黒川 (2002)

市 町 別 生息情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
							○						○		○	○	

クズハキリバチ

Megachile pseudomonticola Hedicke
ハチ目・ハキリバチ科

【福井県カテゴリー】新：要注目

旧：—

【環境省カテゴリー】情報不足

選定理由

確認地点数は減少。生息環境が不明で評価するだけの情報が不足している。青森県、京都府、高知県をはじめ全国的に減少しているようであり、生息環境、県内での分布状況を含めて今後さらなる調査が必要である。

種の特徴

体長 22～25 mm。やや大型のハキリバチ。老木の洞や竹筒、カミキリの脱出抗等に営巣する。クズの葉で育房を作り、この中にクズの花粉を集め産卵する等クズに依存している。

分 布

本州、九州、種子島、屋久島に分布。県内では雄島のほか、大野市日吉、亀山、御給、勝山市松ヶ崎、今庄町大河内で記録があった。今回、永平寺町と大野市三面で採集された。

生息を脅かす要因

本種の減少の原因として宅地開発や土地造成、道路建設、営巣基である立枯木の減少等による営巣地の改変が指摘されている。

参考文献 福井県自然環境保全調査研究会 (1985)、福井県自然環境保全調査研究会 (1998)、環境省 (2015)、京都府自然環境保全課 (2015)、田仲 (2012)

市 町 別 生息情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
								○		○	○				○	○	

イカズチキマダラハナバチ

Nomada icazti Tsuneki
ハチ目・ミツバチ科

【福井県カテゴリー】新：要注目

旧：県域準絶滅危惧

【環境省カテゴリー】—

選定理由

確認地点は増加したが、現在確実に生息しているといえる場所は限られる。生息地での個体数は減少傾向にあり、注視が必要。

種の特徴

メスは前伸腹節にいかずち（雷光）型の鮮やかな黄色紋がある。野外観察等からヤヨイヒメバチに寄生するものと考えられる。

分 布

本州、四国に分布。県内では、大野市、福井市、南越前町、美浜町、若狭町で記録があった。今回、あわら市、敦賀市天筒山、高浜町中山、おおい町仁吾谷等で採集された。

生息を脅かす要因

里山の開発による消失や管理放棄による環境変化が本種の生存に影響を与える。

参考文献 福井県自然保護課 (2002)、羽田 (1999)、室田 (2003)、室田ら (2008a)、室田ら (2008b)、室田ら (2009)、野坂・黒川 (2002)、田塾・室田 (1998)

市 町 別 生息情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
	○	○	○	○		○		○	○				○			○	○